

ケース **2** [1回目：令和11年度]・桜木小、神明小の2校が統合  
 [2回目：令和29年度]・統合校と広沢小の2校が統合

年度 学校名	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	※※ R29 (2047)	R30 (2048)	R31 (2049)
広沢小												▶ <b>統合</b> 【場所】神明小		
桜木小					▶ <b>統合</b> 【場所】神明小									
神明小														

《組合せ・統合時期・統合後に使用する校舎》

[1回目の統合]

○桜木小、神明小 【場所】神明小

- ・ 桜木小、神明小の単学級を改善できる。
- ・ 令和28年度まで望ましい学校規模（12学級以上）を確保できる。

【場所】・施設の状況：既存の校舎を使用し、対応することができる。

[2回目の統合]

○広沢小、[桜木、神明]小 【場所】神明小

- ・ [桜木、神明]小の単学級を回避できる。
- ・ 令和32年度まで望ましい学校規模（12学級以上）を確保できる。

【場所】・施設の状況：既存の校舎を使用し、対応することができる。多目的教室は1教室確保できる見込み。

## 5 参考

### (1) スクールバスの必要台数の見込み

《算出条件》

- ・ 通学距離が2キロメートルを超える場合にスクールバスの利用を想定
- ・ スクールバスは32人乗りを想定
- ・ 統合年度の利用者数を推計

※令和7年5月1日時点の住民基本台帳における未就学児童数及び居住地から算出。

※令和14年度以降の利用者数は、令和7年度から令和13年度までの利用者割合の平均及び資料17「児童生徒数・学級数の見込み〔令和7年度～令和32年度、学年別〕」から算出。

#### ケース1 [1回目：令和11年度] 桜木小、神明小の2校が統合

学校名		桜木小	神明小	計	スクールバス 必要台数
項目					
使用校舎 桜木小	児童数	211	220	431	1
	利用者数	3	0	3	
	利用者割合	1.4%	0.0%	0.7%	
使用校舎 神明小	児童数	211	220	431	1
	利用者数	31	0	31	
	利用者割合	14.7%	0.0%	7.2%	

#### ケース1・2 [2回目：令和29年度]・統合校と広沢小の2校が統合

学校名		広沢小	桜木小	神明小	計	スクールバス 必要台数
項目						
使用校舎 広沢小	児童数	317	87	122	526	5
	利用者数	23	86	38	147	
	利用者割合	7.3%	98.9%	31.1%	27.9%	
使用校舎 桜木小	児童数	317	87	122	526	9
	利用者数	269	1	0	270	
	利用者割合	84.9%	1.1%	0.0%	51.3%	
使用校舎 神明小	児童数	317	87	122	526	6
	利用者数	151	10	0	161	
	利用者割合	47.6%	11.5%	0.0%	30.6%	

## 【中学校】

### ケース2 [令和 17 年度] 広沢中、桜木中の 2 校が統合

年度 学校名	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)	R19 (2037)	R20 (2038)
広沢中											▶ 統合【場所】広沢中			
桜木中														

《組合せ・統合時期・統合後に使用する校舎》

#### ○広沢中、桜木中 【場所】広沢中

- ・ 令和 32 年度まで望ましい学校規模（9 学級以上）を確保できる。

【場所】・施設の状況：既存の校舎を使用し、対応することができる。ただし、多目的教室は確保できない見込み。

- ・ 通学環境の状況：最長となる通学距離（直線距離）が短い。

具体的には、桜木中学校区から広沢中までは、最長で約 4 km 程度、広沢中学校区から桜木中までは、最長で約 5 km 程度となる。